



ゆうすい NEWS No. 61



平成 31 年 2019. 1. 17 発行

題字
大岡 信
(詩人)

三島ゆうすい会事務局 〒411-0856 静岡県三島市広小路町 12-5
TEL&Fax 055-975-6516 E-mail river@yusui.org
URL <http://www.yusui.org/> ※事務局員は常駐しません。
E-mail や Fax で、ご連絡いただくと助かります。

岐阜県視察研修バス旅行 11月26日(月)7:00~20:30

美濃和紙の里・うだつの「美濃市」 水と踊りのまち・郡上八幡の「郡上市」

【参加者】塚田冷子 山岡修一 大村洋子 小松幸子
青木利治 宇水勉 柴原俊介 西川勝美 松根典子
水野幾子 大村暁伸 鈴木千重子 鈴木みのり
山崎芳子 時枝しのぶ 武井功 齊藤美智子
山本京二 古田道治ドライバー（配布名簿順 19 名）

【行程表】6:45 塚田邸集合 7:00 出発→11:15
道の駅・美濃にわか茶屋で昼食→11:45~12:45
美濃和紙会館→13:00~13:45 うだつの町並み
散策→14:30~16:30 水と踊りのまち・
郡上八幡視察→20:30 塚田邸帰着

【企画】山岡修一



美濃市の「うだつの町並み」で

平成 30 年度の三島ゆうすい
会視察研修先は、岐阜県的美
濃市と郡上市。快晴に映える
富士山に見送られ、新東名、
東海環状、東海北陸道と一路
西へ。長良川と並行して流れ
ている曾代用水（そだいようす
い）の風景を眺めながら、道の
駅の「美濃にわか茶屋」で美
味しい昼食となりました。

曾代用水は 1663~1675 年に
建設され、今も美濃市と関市
の田畑を潤し、2015 年には、
世界かんがい施設遺産に登録
されたそうです。

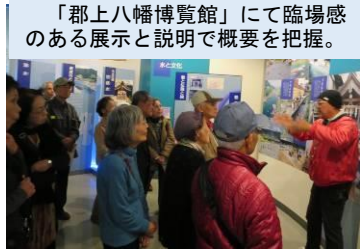


次は「美濃和紙の里会館」。清流と良質の原料に恵まれ、1300 年以上の歴史ある美濃和紙は、代表的な本美濃紙が「和紙：日本の手漉き和紙技術」として 2014 年にユネスコ無形文化遺産に登録されました。今回は、5 人が伝統的な「流し漉き」技法で和紙を漉く「美濃判コース（33×45cm）約 20 分間」に挑戦しました。和紙を乾燥させる器具が整備さ

れており、私たちの紙すき体験指導では乾燥にアイロンを使用しますが、ここの乾燥設備の大きさに驚きました。美濃和紙の歴史は正倉院所蔵の戸籍にまで遡ることができるそうで、手仕事や伝統の美しさが引き継がれています。



「うだつの上がる町並み」という看板が目にとまります。ここは、江戸時代に領主だった金森長近によって造られた美濃市の国指定重要伝統的建造物保存地区。「うだつ」とは、日本家屋の屋根に取り付けられる小柱、防火壁、装飾のことで、本来は「梘」と書き、室町以降は「卯建」や「宇立」などの字になったそうです。大石家住宅には、「明治5年の卯建造り（うだつづくり）」とあり、「松久永助紙店事務所」には、「卯建は、鳥袈（とりぶすま）、鬼瓦、破風（はぶ）、懸魚（げぎょ）の4部からなっている」との説明もあります。「うだつが上がる」とは、「生活が向上し、幸せになれる」という意味合いのようです。また、各所で「さすが和紙の美濃市」と思えるほど、透明ケース入りの手の込んだ大きな和紙アート作品を展示していました。次は、水の町・踊りの町・郡上八幡です。



「郡上八幡博覧館」にて臨場感のある展示と説明で概要を把握。



食品サンプル王・岩崎瀧三の功績を称えるコーナーも。



日本一ロングランの盆踊り体験も！



まちなみ観光案内人・石田典生（つねお）さんの案内で。



日本最古の木造再建の城・郡上八幡城



歴史ある宗祇水



「やなか水のみち」



「いがわのみち」



長良川の支流の清流・吉田川

「いつでも郡上踊りが楽しめる」という郡上八幡博覧館は、水や城下町の歴史等の紹介設備も整っており、お土産購入もできる観光スタートスポット。観光ガイド・石田典生さんの案内で、人々と水との関わりや、どんなに水を大切にしたらまちづくりかを視察。水は、今も地元住民によって大切に管理され、生活用水として使われ、随所で感心する取り組みを目にすることができました。清流のまち・郡上八幡には、多くの学びのヒントがあるようでした。

「水環境と浄化槽講座」で大村洋子会長がパネラーに！



一般財団法人静岡県生活科学検査センター主催の「水環境と浄化槽講座」が、11月30日（金）13:30～15:30、三島市民生涯学習センター3階講義室で開催されました。第1部は、漫画家でエッセイストの赤星たみ

こさんの演題「浄化槽で水をきれいに安心安全生活」の講演でした。宮崎県日之影町生まれの赤星講師は、手描きのイラストを映写して分かりやすく、浄化槽を上手に使う誰でもできる数々の暮らし方を紹介。例えば、コンポストを使い、もう20数年間、生ごみを出さない生活をされているとのことでした。

第2部は、「湧水の保全と生活排水対策」をテーマにパネルディスカッション。コーディネーターは、常葉大学社会環境学部の小川浩教授。パネラーは、赤星たみこさん（写真右）と、静岡県くらし・環境部環境局生活環境課大気水質班長の本田正明さん（写真中）、三島ゆうすい会の大村洋子会長（写真左）。本田さんは、生活排水の処理の状況や、静岡県東部の河川のBODについて紹介し、生活排水の環境への負荷を低減させるために、下水道処理区域では下水道接続を、単独処理浄化槽は合併処理浄化槽への転換をと呼び掛けました。大村会長は、三島ゆうすい会の長年の取り組み（「水の復活」事業、「水の活用」事業、「水の学習」事業、「水のイベント」事業、「他団体との連携」事業）を映像で紹介し、他の方々から会の活動が高く評価されました。質疑も活発で、有意義な水環境の講座となりました。



恵明学園の児童たちに紙すきの指導



10月27日(土)の13:00~15:00、児童への紙すき体験の指導のため、恵明学園に伺いました。参加者は、青木利治、大村皖伸、宇水勉、大村洋子、小松幸子、西川勝美、水野幾子の7名。(10月12日の打ち合わせには、

青木利治、大村皖伸、宇水勉が参加)

2年前の紙すきの時に低学年だったE君は、落ち着いた中学年になっていて、積極的に紙すき体験し、後片付けや掃除等を率先して低学年児童と手伝っていました。

今回、中心になって対応してくださった松永憲治保育士のお話では、1~6年生まで約20人が体験したとのことでした。石渡文香事務員さんも、サポート。また、恵明学園にアジア社会福祉従事者研修(社会福祉法人全国社会福祉協議会)で来ていたインドネシア共和国ジャカルタ出身のティンティン・アニサさんも作品ができて嬉しそうでした。



廣川敏雄理事のご冥福を心よりお祈り申し上げます。



10月30日に、急逝された廣川敏雄理事のご冥福を、三島ゆうすい会一同、心よりお祈り申し上げます。また、長年の多大なご尽力に対して、深く感謝申し上げます。

合掌

宮さんの川に関わる地元協議会

11月13日(火)15:00、シンコウパーク会議室で、三島市商工観光課、同農政課、同土木課、三島ゆうすい会(塚田冷子、松根典子、大村洋子、大村皖伸、柴原俊介)、宮さんの川を守る会等で開催されました。宮さんの川の改修後の検証と景観維持のために、地元の町内会を含めて、再度、協議していこうということになりました。



「七草粥のつどい」は、伊豆国分寺を会場に、多くのご協力で開催



1月7日(月)8:30から西防災センターで、女性陣(大村洋子、小松幸子、水野幾子、松根典子)は、近隣の女性やグローバル文化交流協会の協力(敬称略:山口好子、眞野ふみ子、大谷敏子、芹沢峯子、中村静代、青木峯子、乙部美麻子)も得て七草粥づくり。男性陣(秋山峰治、青木利治、大村皖伸、平林紘治、西川勝美、宇水勉、岩田重理、柴原俊介)は、資材運搬や会場設営を担当。11:30から約120人が、コールロベリアの美しい女声コーラスを聞きながら、無病息災を願い、七草粥を味わいました。



内藤秀一さんと大村洋子会長

1月6日(日)8:30に塚田冷子名誉会長宅を2台の車で、三ツ谷新田の内藤秀一さんの七草の作業所に直行。内藤さんの母・理恵子さんが、七草をしっかりと準備してくださってありました。その後、合流メンバーも含めて、西防災センターで、当日配布用の袋詰め作業を行いました。



司会は、ユーモアあふれる秋山峰治相談役。つどいは、大村洋子会長の挨拶、塚田冷子名誉会長の紹介、七草の説明、コールロベリア(主宰:青木不二子)の紹介、来賓の豊岡武士三島市長の挨拶等...



七草粥の歌に合わせて岩田重理理事が太鼓で盛り上げ大拍手。伊豆国分寺のご住職も、七草粥のつどいを優しい笑顔で見守ってくださいました。ご住職と一緒に

の写真右は、青木利治副会長。

閉会の言葉は小松幸子副会長。多くのご協力に感謝するとともに、来年も元気で会いましょうと結びました。



観劇「～コントだらけのクリスマス～」



12月22日(土) 16:30 開演の「～コントだらけのクリスマス～」を観劇。当会の名誉顧問で女優の藤田弓子さんは、「伊豆の国市劇団いず夢」の座長。創立20周年の2018年は、6月に「弓子の部屋」、9月に「ゴーストギャング」、そして今回と、意気込みを感じさせる取り組みでした。弓子さん登場で盛り上がった「姥捨山のカラス」等9つコントと、クリスマスソング6曲で大いに和みました。

藤田さんは終演後の舞台上でキャストを紹介するとともに、20年間を感慨深く語り、多忙な季節に来場した観客への深いお礼の言葉で締めくくりました。

ご寄付いただき、ありがとうございます。
(宗)伊豆国分寺 様

ご入会くださり、ありがとうございます。
山崎 芳子 様

三島ゆうすい会のホームページ

「三島ゆうすい会」のホームページは随時更新中です。「ゆうすい NEWS」もカラー版で見ることができ、以前のホームページも閲覧できます。ぜひ、ご覧ください。

URL: <http://www.yusui.org/>



定例活動のお知らせ

- ★自由参加
- ★雨天時は休み



宮さんの川の清掃

- ・原則 毎朝 6:30～
- ・宮さんの川へ集合
- ・持ち物: 長靴、ビニール手袋
- ※「宮さんの川を守る会」と共に、清掃します。

「三島梅花藻の里」で
ミシマバイカモ保全活動

- ・原則 毎月第2日曜日 10:00～
- ・三島梅花藻の里へ集合
- ・持ち物: 長靴、ビニール手袋、草取り道具等

源兵衛川の清掃

- ・原則 毎月第2日曜日 10:00～
- ・水の苑緑地・かわせみ橋へ集合
- ・持ち物: 長靴、ビニール手袋
- ※「源兵衛川を愛する会」と共に、清掃します。

源兵衛川の第2、第3ゾーンと
宮さんの川から、ヒロセパーク
までの鎌倉古道の清掃活動

- ・原則 毎週土・日曜日の朝 6:00～
- ・源兵衛川いずみ橋へ集合
- ・持ち物: 長靴、ビニール手袋、ゴミを入れる袋等

源兵衛川のいずみ橋から
広瀬橋までのゴミ拾いなど

- ・原則 毎週土・日曜日の朝 6:30～
- ・源兵衛川いずみ橋へ集合
- ・持ち物: 長靴、ビニール手袋、ゴミを入れる袋等

桜川の清掃

- ・原則 毎月第1土曜日 10:00～
- ・白滝公園へ集合
- ・持ち物: 長靴、ビニール手袋
- ※「桜川を愛する会」と共に、清掃します。

平成30年度の忘年会(登喜和にて)

12月20日(木)の11:30から「登喜和」にて理事会と忘年会を開催。1年間の活動を振り返りつつ、平成31年1月1日からの新年度への抱負を語り合いました。

早速、1月7日の「七草粥のつどい」の準備や役割分担で、「協力の手」が多数挙がっていました。



平成31年度・第28回三島ゆうすい会総会

日 時: 平成31年3月2日(土)

- ★総会 16:00～16:50(会員のみ)
- ★講演会 17:00～18:00(どなたも無料)
演題(仮)「水の都・三島に暮らして思うこと」
講師 諏訪部 敏之さん(元三島商工会議所会頭)
- ★交流会 18:15～20:00(有料)
※交流会費は1人3,000円です。必ず事前に申し込みをしてください。

会 場: Via701(1階ホール)

三島広小路駅より徒歩3分

※三島ゆうすい会年会費(正会員3,000円)も、総会時にお支払いが可能ですので、ご用意ください。

会費納入のお願い

本年度分会費の納入にご協力賜いますよう、よろしくお願い申し上げます。

- ★正会費 3,000円
- ★賛助会費1口 10,000円(何口でも可)

※下記のいずれかに納入してください。

〈お振込み先〉

- ・郵便振替 0840-4-118192
加入者名: 三島ゆうすい会
- ・静岡銀行三島支店
普通預金 No.0346532
口座名: 三島ゆうすい会
会長 大村洋子
- ・スルガ銀行三島セントラル支店
普通預金 No.572969
口座名: 三島ゆうすい会
会長 大村洋子
- ・三島信用金庫西支店
普通預金 No.1042399
口座名: 三島ゆうすい会
会長 大村洋子